あしたに、わくわくを。
池田泉州ホールディングス

決算レポート

業績 High Light 第6次中期経営計画の進捗

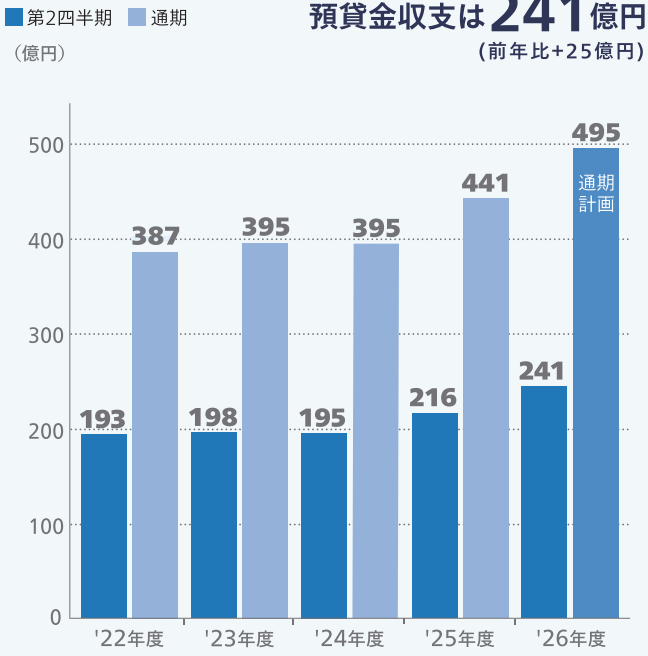
2026年度 第2四半期のHD連結当期純利益は103億円

計画88億円に対し、15億円の超過達成

詳細情報はコチラ

預貸金収支

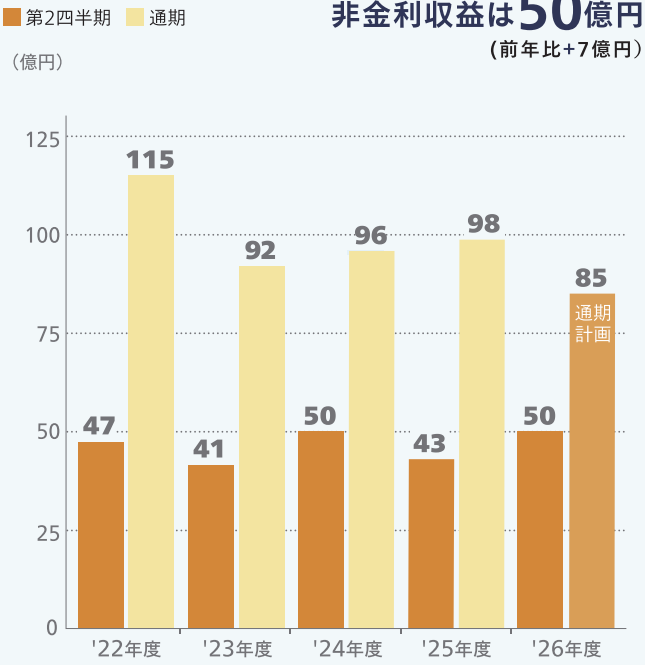
預金と貸出金の利ざやから得られる
預貸金収支は241億円
（前年比+25億円）



・住宅ローン、事業性貸出ともに残高が増加したことに加え、政策金利の引き上げに伴い、貸出金利息が増加しました。

非金利収益

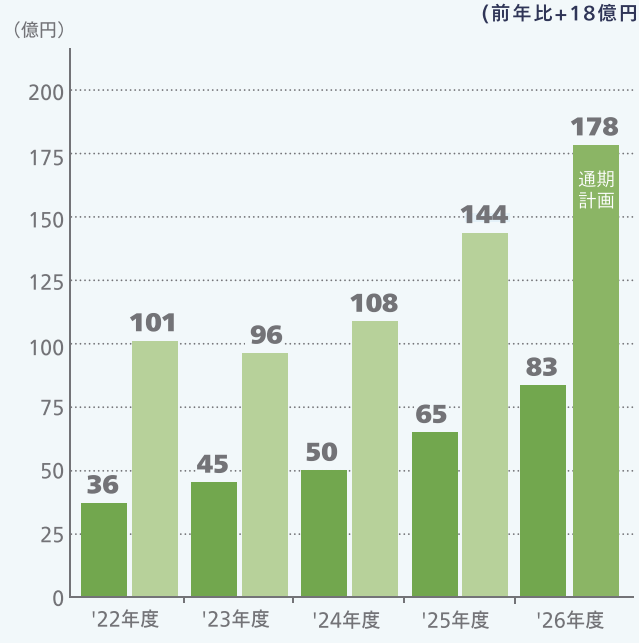
個人・法人の手数料を中心とした
非金利収益は50億円
（前年比+7億円）



・預り資産販売手数料および外為関連手数料が増加しました。
なお、2026年1月に池田泉州M&Aソリューションを設立したことにより、M&A手数料収益は同社にて計上されております。

本業利益※

お客さまとの取引から得られる
本業利益は83億円
（前年比+18億円）

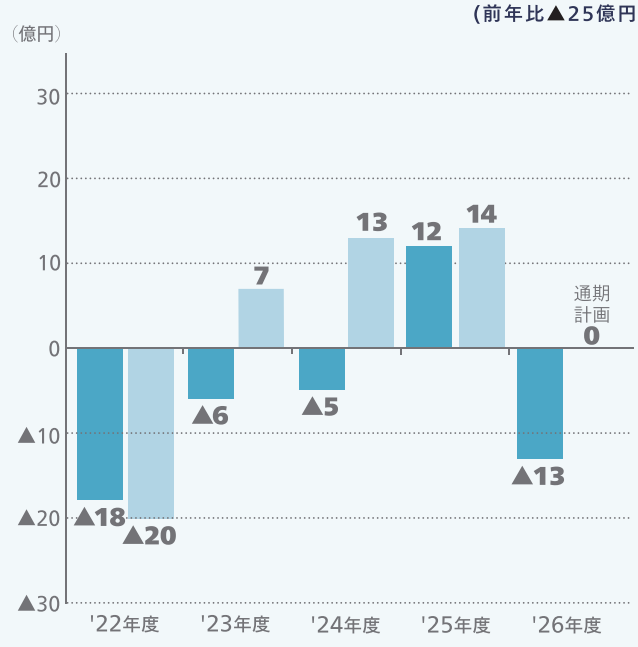


・貸出残高増加に加え、政策金利の引き上げに伴い、預貸金利回り差が拡大したことで預貸金利益が増加しました。

※本業利益＝貸出残高×預貸金利回り差＋役務取引等利益－営業経費

与信費用

与信費用は13億円の
取崩し益
（前年比▲25億円）



・原油価格高騰の影響等に備え、通期計画を見積もりましたが、想定より与信費用が発生せず、加えて、個別取引先の引当金の取崩しが発生しました。